

# ベルマーク新聞 11月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## ピカピカの備品、子どもたちに届く

### 支援先のへき地学校から感謝メッセージ



備品を活用している写真が続々と届いている ①三島村立三島大里学園(鹿児島県) ②徳之島町立亀徳小学校(鹿児島県) ③函館市立南茅部小学校(北海道) ④高崎市立倉淵中学校(群馬県)

ベルマーク財団が今年度支援したへき地学校から、感謝のメッセージが続々と届いています。

鹿児島県の**三島村立三島大里学園**(山下博文校長、児童・生徒22人)からの手紙には、寄贈した卓球台、Webカメラについて、感想がつづられていました。

同学園は、小学校から中学校に相当する子どもたちが9年間の小中一貫教育を受ける義務教育学校です。1年生から6年生は前期課程、7年生から9年生は後期課程と呼んでいます。

後期課程唯一の部活動が卓球部。これまで使ってきた卓球台は1978年に配備されたものでした。主将の日高梨々花さん(8年)は「新しい台は軽くて運びやすく、練習がはかどります。たくさん練習していきたい」と試合に向けて気合十分。

学校は離島にあるため、Webカメラは重要度が高い備品のひとつです。遠隔授業や外部講師を招いて実施する合同授業などを開くのに欠かせません。山下校長によると、「教室内の児童生徒全員をきれいに映すことができ、これまでよりもスムーズに授業を進められる」そうです。

鹿児島県の**徳之島町立亀徳小学校**(越間むつみ校長、児童127人)へ財団が寄贈したのは、コンピューターミシン、鉛筆削り、ドッチビーなどの備品です。以前から使っていたミシンは不具合のあるものが多く、買い替えたいと考えていたといいます。届いてすぐ、家庭科の授業で活用されました。写真にはナップサック作りに取り組んでいる子どもたちの姿が写っています。「上糸をかける順

番が分かりやすい」と喜んでいたそうです。「多くの方々からいただいた思いを忘れずに、大切に使います」と記されていました。

北海道の**函館市立南茅部小学校**(深澤昌明校長、児童152人)に贈ったのは、「フラッシュ教材2～6年基礎基本」と「赤白玉」280個。フラッシュ教材は、漢字の読みや四字熟語、面積の公式、地図記号、実験器具の名称などの問題をテレビモニター画面に映し、フラッシュカードのように一瞬で切り替えて表示させることができます。「習ったことを思い出したり、現在学習していることを繰り返し覚えたり、基礎が身についています」と坪谷正樹教頭は話します。赤白玉は来年度の運動会に使う予定とのこと。

群馬県の**高崎市立倉淵中学校**(大塚浩

文校長、生徒71人)にはワイヤレスアンプとワイヤレスチューナーユニットを贈りました。チューナーユニットは複数のマイクを同時に使うときに必要です。

早速大活躍したのが10月21日に開かれた「紅葉祭」。文化祭では、総合的な学習の成果や器楽演奏、英語弁論、読書感想文の発表など、多くの人にわかりやすく伝えることが求められます。大塚校長は、新しいアンプについて「感度や音声も素晴らしかった」と振り返りました。

みんなでなかよく  
大切に使ってね



## 過去2番目に多い123通の応募

### 第37回「ベルマーク便りコンクール」入賞校を3面に掲載

2022年度の「ベルマーク便りコンクール」の入賞校が決まりました。

ベルマーク活動を学校内外に伝える広報物を対象としたコンクールで、1986年から始まり、今年で37回目の開催です。今回は、過去2番目に多い123通の応募がありました。コロナ禍が長引く中でも活動を続け、応募してくださいました皆さんに感謝いたします。

内容の分かりやすさ、レイアウト、発行回数、読者が楽しみながら読めるかななどをポイントに財団職員8人

が審査し、優秀賞11点、佳作7点、特別賞4点を選びました。手描きのイラストが盛り込まれたお便りや、校舎の一角にベルマークコーナーを作ってお知らせを掲示している写真、学校ホームページのブログ、SNSを使った画面のスクリーンショットなど、オリジナリティにあふれた作品が多くあり、審査には頭を悩ませました。入賞校はこの新聞の3面に掲載しています。

ベルマーク便りコンクールは来年度も開催します。ご応募をお待ちしています。



優秀賞を受賞した神奈川県逗子市立沼間小の作品。この号ではテトラパックを特集して、協力を呼びかけている

## 適切な体育館の床メンテナンスを

### ミズノが「GRIPメンテナンスクリーナーシリーズ」を販売

協力会社のミズノは、体育館床面の維持・管理ができる「GRIP メンテナンスクリーナーシリーズ」をラインナップ展開しています。専門知識がなくても、適切なメンテナンス作業を自分たちで完結できる商品です。

安全性、高性能、低コスト、簡単、抗菌効果の5つの要素を兼ね備えた「GRIP メンテナンスクリーナーシリーズ」。「NONSLIP」は床面の性能を回復し、スポーツに適した正しい滑り抵抗値に戻します。「GRIP」は床面の汚れを除去し、性能を維持する商品で、松やなどにも除去することができます。用途に応じたメンテナンス剤をお選びください。

使い方は、専用モップとマイクロファイバークロスに各種クリーナーを適量含ませ、体育館床を拭くだけです。事前の清掃は必要ありません。

成分には床板の劣化を進ませる水分やワックスを一切

含まず、塗膜を作らないのが特徴です。床板が劣化すると、割れやささくれ、はがれ落ちた床板の一部が身体に刺さって怪我をすることにもつながります。実際に複数の事故が発生したことから、文部科学省は2017年、水拭きやワックスがけを禁止する通達を出しました。さらに、化学物質によって体調不良を引き起こすシックスクールにも配慮し、食品衛生法の定める有害物質も一切含んでいません。

ミズノでは、このようなメンテナンス剤の取り扱い以外に、「メンテナンスパッケージ」というオリジナルサービスも販売しています。専門スタッフが学校の体育館を訪問し、フロアの状態を診断。正しいメンテナンスや必要な修繕など、施設を長く使うことを目的とした診断報告書を作成します。「メンテナンスパッケージ」は学校体育館1か所につき60000円(税抜)、交通費が別途



㊤「NONSLIP」(18L缶)

㊦マイクロファイバークロスをジムモップに装着したときのイメージ

が必要です。

価格は「NONSLIP」(18L缶)が58000円(税抜)、「GLIP」(同)が48000円(税抜)。効率よく作業ができる専用のジムモップは1本48000円(税抜)で、繰り返し使えるマイクロファイバークロスは1枚7000円(税抜)です。問い合わせはミズノ(フリーダイヤル0120-140336)まで。

## 5歳のぼくも「困っている人を助けたい」

### ベルマークの仕分けボランティアに初挑戦

「5才の息子なのですが、仕分けボランティアに参加できますか？」

財団ホームページのボランティア募集記事を読んだ女性から、今年6月に問い合わせがありました。幼稚園年長の男の子が、興味を持っているというのです。仕分けボランティアは、財団に寄贈されたマークを会社・点数別に仕分けて集計する活動で、年齢を問わず参加できます。とはいうものの、5才は過去最年少。どのような理由があって申し込んでくれたのか、お話を聞きました。

参加を希望したのは、幼稚園に通う春木落生人くん。お母さんによると、自分の身の回りのことをほとんど一人で出来るようになった落生人くんは、最近おうちのお手伝いを積極的にしてくれるそうです。



同時に芽生えてきたのが、「人の役に立ちたい」という思いです。「どうしたら病気の人を助けてあげられるのかな」「あの人が困っているんじゃないかな」と他人を思いやる気持ちが強くなってきました。

お母さんはその思いの実現をサポートしたいと、5才でも参加できるボランティアをインターネットで検索しました。そして、たどり着いたのがベルマークでした。

仕分けを始める前、お母さんは「みんなが一生懸命集めた大切なもの。お金と一緒に、たくさん集めるとボールになったり、ピアノになったりするんだよ」と落生人くんに伝えました。マーク一枚一枚の重みを理解したうえで、お母さん、お父さんと協力して取り組みました。作業はスイスイと滞りなく進んだそうで、後日、財団に4089.6点分のベルマークが戻ってきました。今後もボランティアを続けたいという嬉しい一言もありました。

翌月、2回目のボランティアを依頼しました。1回目よりもたくさんの枚数をお願いしましたが、集中力も作業スピードも上がり、たった2日で仕分けを終えました。



慣れた手つきでマークを仕分ける春木落生人くん(お母さん提供)

合計点数は11660.2点と、1回目の3倍近くを整理しました。

作業中は、マークの色やデザインを見るのが楽しかったといいます。お気に入りには湖池屋(ベルマーク番号77)の「カラムーチョ」のマーク。協賛会社の番号も覚え、好きなベルマーク付き商品は「04番(日本水産)の『大きな大きな焼きおにぎり』!」と教えてくれました。

ボランティア活動の入り口となるのが出来るのがベルマーク仕分け。5才の落生人くんの思いがベルマークを通じて実現できたことを大変嬉しく思いました。

## 東北の2校に合計20万点を寄贈

### ジャックスから矢巾町立煙山小、むつ市立大平小へ

大手信販会社のジャックス(本部・東京都渋谷区)は、役職員で集めたベルマークあわせて20万点を、岩手県矢巾町立煙山小学校(阿部真由子校長、児童655人)と青森県むつ市立大平小学校(佐藤智義校長、児童437人)へ贈りました。

ジャックスは、全社員が参加できる身近な社会貢献活動として、2015年からベルマーク収集に取り組んでいます。これまでに創業の地である函館の学校、地震・豪雨の被災校、特別支援学校などに寄贈してきました。2021年からは、地域社会へさらに貢献しようと、全国にある営業所と協力し、各地域の学校へ寄贈する取り組みを始めています。今回は、函館の次に東北地方へ営業所を出店したことから、東北の2校を選びました。

贈呈式はそれぞれの学校で開かれました。9月9日は煙山小で、ジャックス盛岡支店社員から阿部校長とベルマーク委

員長の境田真帆さん(6年)へ目録が渡されました。煙山小は、吹奏楽部が今年度の全国大会に出場するほどの強豪校です。「楽器の購入などに役立てていただければ」とジャックス社員は話します。

ベルマーク運動も盛んで、月1回、ベルマークを入れる封筒を回収し、ベルマーク委員会の子どもたちが協賛会社ごとに仕分けします。校内放送やポスターで回収の呼びかけもしているそうです。境



左から6年の境田真帆さん、阿部真由子校長、ジャックス盛岡支店社員

田さんは「私たちのために、一生懸命集めていただいたのだと思うと、とてもうれいです。大切にに使わせていただきました」と感謝の言葉をジャックス社員に伝えました。

10月25日には大平小で、ジャックス青森支店長から佐藤校長へ目録が手渡されました。大平小は、青森支店社員のお子さんが通っている学校で、ベルマーク運動に参加しています。これまでにベルマークを340万点以上集め、ミシンなどを購入しています。インク・トナーカートリッジは地域の方からの協力があるそうです。しかしながら、コロナ禍で2年間、回収・集計作業が中止になっているといいます。

今回の寄贈では、掃除用具を入れるロッカーを買いました。ベルマークを担当する環境委員会が、環境に適した備品を購入したいとの思いから決めたそうで

す。「ロッカーがだいぶ古くなり、新しく交換したいと思っていたので、たいへん助かりました」と佐藤校長は話しました。

ジャックス盛岡支店の担当者は、「とても喜んでいただけて、非常にうれしい」。青森支店の担当者は、「ベルマークが学用品の購入に活用されているのを目の当たりにしてうれしい」と感想を教えてくださいました。



目録を手に佐藤智義校長(左)と青森支店社員

# 入賞22校が決定、力作そろそろ

## 第37回「ベルマーク便りコンクール」

2022年度の入賞22校は以下の通りです。(順不同)

### 【優秀賞】

- 葉山町立葉山小学校 (神奈川県)
- 摂津市立別府小学校 (大阪府)
- 大津市立下阪本小学校 (滋賀県)
- 大田区立調布大塚小学校 (東京都)
- 横浜市立駒岡小学校 (神奈川県)
- 逗子市立沼間小学校 (神奈川県)
- 奄美市立朝日小学校 (鹿児島県)
- 印西市立滝野小学校 (千葉県)
- 札幌市立山の手南小学校 (北海道)

岸野保育園 (長野県)

神戸市立稗田小学校 (兵庫県)

### 【佳作】

- 鎌倉市立小坂小学校 (神奈川県)
- 練馬区立立野小学校 (東京都)
- 京都市立桃山東小学校 (京都府)
- 大田区立山王小学校 (東京都)
- 近江八幡市立金田幼稚園 (滋賀県)
- 大阪市立常盤小学校 (大阪府)
- 沖縄市立高原小学校 (沖縄県)

### 【特別賞】

真岡市立真岡西小学校 (栃木県)

一宮市立今伊勢西小学校 (愛知県)

尾道市重井公民館 (広島県)

茅ヶ崎市立梅田小学校 (神奈川県)



コンクールは来年度も開催します。対象は、2022年10月1日～2023年9月30日までに発行した作品で、締め切りは2023年9月30日、消印有効です。優秀賞を受賞した参加団体には3万円と表彰状、佳作と特別賞は1万円と表彰状、受賞を逃しても参加賞として2000円の図書カードを贈ります。



①佳作を受賞した小坂小のベルマークだより  
②優秀賞を受賞した朝日小の「朝日ベルベル新聞」

# 光と紫外線のパワーを感じ取ろう

## 鹿児島・曾於市立中谷小で理科実験教室



鹿児島県の曾於市立中谷小学校(柳野竜生校長、児童15人)で10月8日、理科実験教室が開かれました。ベルマーク財団は、へき地校に通う子どもたちへのソフト援助として、1999年から理科実験教室を開催しています。今回は「光のエネルギー」と「紫外線」をテーマにした2つの実験をしました。

講師は村上規代先生。高校で理科の教師を務め、退職した21年前から、科学の楽しさを知ってもらおうと、わくわくサイエンス教室を立ち上げました。これまでにのべ300回以上、理科実験の講師

としてボランティア活動をしています。

まずは太陽の話から。太陽は水素原子が集まってできていて、水素ガス同士がぶつかり、ヘリウムになるときに、光と熱が出ます。村上先生は「太陽の恵みをいっぱい受けています」と説明しました。

「紫外線に当たるとどうなる?」という先生の問いかけに、「焼ける」「黒くなる」と答えた子どもたち。正解です。紫外線が皮膚を通し、細胞を変化させるからです。

ひとつめの実験は、太陽光を貯めると光る「ウルトラマンバッジ」作り。2種類のレジン液と、蓄光材の粉をピーカー

に入れて混ぜます。レジン液が熱をおび、粘り気が出て「化学反応」が起きました。ウルトラマンの型枠に流し込み、白く固まったら、型枠から取り出し、赤いパンツの模様と銀色の目のシールで飾り付けて出来上がりです。

バッジを太陽光に10分ほどあてると、光が貯まります。バッジ作りからの学びは「集めた光は、後で使える」ということ。

ふたつめの実験は、「忍者えのぐ」を使った、目に見えない紫外線をつかまえる「忍者バルーンスライム」作り。忍者えのぐは、紫外線を浴びると色が変わる

インクです。スライムの材料は、このインクと液体のり、お湯、固める役割を持つホウ砂液。混ぜると、プルプルとしたスライムになりました。太陽光に当てると、室内では白かったスライムが、ピンクや赤紫、黄色にそれぞれ変わりました。

村上先生は、地球を守るオゾン層がフロンガスによって壊されていること、ごみの分別が大切なこと、帽子を被ると紫外線から身を守れることも伝えました。

児童を代表して、橘木翔さん(6年)が「理科の楽しさをもっと知ることが出来ました」と感想を話しました。

# 「未来の創り手」のために

## 第71回全国へき地教育研究大会、山形で開催

山間部や離島など都会から離れた地域の教育の在り方を研究し、次の授業や学校生活にいかそうと活動する「全国へき地教育研究連盟(全へき連)」主催の全国大会が9月29、30の両日、山形県内の10会場で開かれました。同連盟がすすめる「第9次長期5カ年研究推進計画(9次長計)」の4年目にあたり、3年間の研究を踏まえ、計画を評価・発展させていく重要な年と位置づけられています。71回となる今大会は昨年に続きオンラインも使った「ハイブリッド型」で実施され、多くの教職員らが参加しました。

山形大会の研究主題は「ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成」。山形県内の公立小中学校は合計324校で、このうち、山間

部地域と小規模校が占める割合は合計14.8%。近年になって人口減少と過疎化が進む地域が増え、県全体で統廃合が進み、あらたに複式学級が設置された学校が出てきているそうです。



初日午前中の全体会で、高木光紀・大会実行委員長は、「子どもの輝く未来のために、実りある大会にしたい」と挨拶。全へき連の柿崎秀顕会長は、「特色をいかし

た教育実践を全国に発信し、あらたな時代を築く礎としたい」と宣言しました。

記念講演として、クラゲドリーム館(加茂水族館)の奥泉和也館長がクラゲの知られざる生態と展示のむつかしさを語り、会場は大いに盛り上がりました。

午後は課題別に6つの分散会が開催され、全国・地域ブロックごとに12校が発表しました。

沖縄県の石垣市立吉原小学校の発表では、神里美沙緒教諭が登壇。児童数11人、保護者は全員が県外出身者だそうです。

少人数や複式学級指導でガイド学習などを採り入れ、スノーケル体験や浄水場の見学、キビ刈り体験、三線演奏など、地域資源をいかして行ってきた、体験的な教育活動について報告されました。

2日目の分科会では、県内8つの小中学校がそれぞれの公開授業のなかで、研究の成果と課題を発表しました。



「ともに学び合い、深め合う授業の創造」を主題とした研究をしているのは、大蔵村立大蔵中学校。教師は、一方的な講義形式の指導にならないよう、「生徒と生徒、生徒と教材をつなぐ存在」となることを目指しています。

# 「防災とは、災害から生き残ること」

## 山口・下関市立江浦小で防災科学教室

国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)とベルマーク財団が共催する「防災科学教室」が10月4日、山口県下関市の市立江浦小学校で開かれました。子どもたちの防災リテラシー向上を目的として2018年度に始まった事業で、今年度4校目の開催でした。防災科研広報・ブランディング推進課の今野公美子さんから届いたレポートを紹介します。



講師は、宮城県栗原市にある栗駒山麓ジオパークの専門員、鈴木比奈子さんです。9月末まで防災科研の研究者として、災害事例をまとめたデータベースを作る仕事などをしていました。

教室は、全校児童数253人を低学年と高学年の3学年ずつに分けて実施されました。

「防災とは、災害から生き残ること」。鈴木さんの強いメッセージから講話が始まりました。日本は自然災害の起こりやすい国です。「みなさんには、どんな場所で、どんな災害にあっても、生き残れる人になってほしいです。死んでしまったら、どうにもなりません。災害のことを、しっかり勉強してください」

地域によって起こりやすい災害は異なるため、住んでいる地域、旅行先などの情報を知ることは大切です。ここで、どのような災害が起こりやすいか調べる方法の一つが地図を見ること。鈴木さんは、彦島地区の地形がわかる地図を見せました。江浦小の高さ(海拔)は3.9mで、山に囲まれた平らな土地に建っており、洪水や高潮で水



④子どもたちを前に講話する鈴木比奈子さん ⑤江浦小の高さは海拔3.9m

に浸かりやすい土地であることが読み取れます。

具体的にどの地区で被害が起こりやすいのか、どこに避難したらいいのか、などを調べるには「ハザードマップ」が役立ちます。鈴木さんは、ハザードマップを実際に広げて説明しました。すると、同校のある地域は、高潮では1~2mの浸水深が想定されていること、校区では土砂災害が心配な場所もあることがわかりました。

注意が必要なのは、災害が起こりそうなときに避難する場所。土砂災害のときは避難場所に指定されている江浦小ですが、高潮では、避難場所に指定されていません。「高潮のときは江浦小ではなく、もっと高いところに避難すること。災害の種類によって避難場所が違います」

最後に、避難などのために備えておくグッズを説明しました。鈴木さんのぬいぐるみ型のリュックから、ラジ



⑥水、ラジオ、ヘッドライト、ラップなどの備えが大切

オ、ヘッドライト、電池、水、ラップなどが出てきました。「自分の好きなリュックに、必要なものを入れてください。トランプなど遊ぶ道具もあるといいですよ」

避難所で過ごすときの注意もありました。「プライベートゾーンといって、水着でかかれる部分はほかの人に触らせてはいけません。男の子のような服装をするほうがいいです。トイレに行くときは一人では絶対に行かないで『連れション』してください」

授業後、5年生に感想を聞くと、「当たり前のことだけ『死なない』ということを改めて実感した。防災グッズを持っても、対策をしても、死んだら意味がない。教えてもらった以外のグッズも調べてみたい」との声がありました。講話を通して、防災を「自分に関係のあること」として認識できたようです。

# ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

## 〈マーク寄贈者〉9月21日~10月20日

北海道 小田 松原生 水戸部良子 安代仁恵 丹呉美智子 小林久子 林宏行 金澤宣幸 根塚成子 三井住友信託銀行札幌支店 北倉石油店 NPO法人幹の会 匿名希望 岩手県 イオンスーパーセンター労組 協同組合リッチヒル遠野第1工場 宮城県 佐藤理羽 鈴木まゆみ キリンビバレッジ(株)東日本統括本部 明治安田生命保険(相)仙台広瀬営業部 匿名希望 秋田県 安倍しおり 山形県 奥山俊 福島県 岩本修 真壁弘幸 茨城県 島瀬佳世子 仲三河葵 笹嶋ちとせ 清宮恵子 斉藤安子 栃木県 白井藍 松尾基邦 六角安子 高森悦夫 古屋美帆 柳沢守明 桂隆之 若菜達 群馬県 山田禮子 損害保険ジャパン(株)群馬支店 中川政敏 埼玉県 飯嶋一平 小野寺榮子 西村由希子 保田幸代 山口忍 榎本美紀 木村あや子 クラブツーリズム(株)エコースタッフ 北田勉 小塚伸子 斉藤大翔 基央 堺澤慶子 高橋夏実 松崎愛奈 岩田寿子 加藤加津子 奈良ゆき 若井礼子 沼田泰子 亦野文子 匿名希望 千葉県 青木美穂 家村正紀 五十嵐美紀 井上花子 澤みどり 塩谷正 田中有子 ねこまねき 松本静代 三井住友信託銀行千葉支店兼千葉駅前支店 伊藤文夫 大串久子 クラブツーリズム(株)エコースタッフ 越野恵子 武井友実 増田岳人 高崎満美子 富田みち子 石井良江 乾ミサヲ 小高真紀子 小原智里 鈴木康子 アイプリモ千葉店 木方正子 東京東信用金庫松戸支店 長澤照美 花塚由起子 関田元子 野口央子 (株)角八商店 成田市立吾妻小5年4組ベテラン募金会社 村本明子 森靖之 匿名希望 東京都 稲葉智子 井上恵里子 インフォテック・ホールディングス(株) 江戸川区立瑞江第二中生徒会役員 太田利子 小川侑子 (株)日立LG データストレージ 北澤一晃 久保田明美 小林 齋藤正己 佐藤澄恵 佐藤光代 柴原淑子 白石美千枝 鈴木絢子 摺河朋子 田中直美 田中操 寺元健二 成輪香生子 仁井田和美 放課後等デイサービス REVE 堀川貴人 目白教会 山川晴子 粕谷喜美子 熊澤順子 クラブツーリズム(株)エコースタッフ 小林俊彦 小町谷昌子 鈴木一美 鶴巻幸子 中山文隆 久田未子 松本つね子 水本理子 渡辺真澄 市川佳世子 エンカレッジ・テクノロジー(株) 大河平悦子 岡部美佐子 小幡恵子 金沢洋子 坂井美帆 坂本千春 島田文子 東京東信用金庫深川

北支店 鍋池昌子 矢沢陽子 山口容子 山田こずえ ローソン銀行第31回SDGsチーム JA共済連 池亀頼江 大塚正志 (株)大塚商会 さうらべ 芹澤栄子 寺田真人 土橋千鶴子 富山智恵子 日本生命保険(相)代理店サポートセンター 原由美子 丸茶(株) 岡田えみ子 川上洋一 木村由紀子 文京区立第六中(株)足立ケア21 DM三井製糖(株) 稲津俊子 井場洋子 関裕子 大殿村祐子 日本基督教団小金井緑町教会 花城健弘(公社)日本訪問販売協会事務局 アイスター商事代理店安本品子 河合典子 神田電気工事(株) 佐々木有朔 曾根多恵子 太刀川忠良 長坂美智子 安藤片岡明子 袖山和江 高江泉 トヨタモビリティパーツ(株)東京・山梨統括支社 J&J愛をささやく 本由香里 服部わかな 本橋とよ子 大倉悦子 小林良江 匿名希望 神奈川県 「グループホームちいさな手」若葉の丘横浜こうなん 奥川順子 川岸晃子 蔵田りえ 斉藤千恵子 佐々木彩佳 武山薫 水谷智子(公社)スコレ家庭教育振興協会 大塚ちか江 全富士通労組連合会 永添敬子 岩本・中村 霜村知恵子 田所弘子 青木美穂 菊地原久美 江坂野勇市 佐藤雄治 谷本久美子 宮和田晴美 村田美緒理 太刀岡さなえ 東京ルーフ(株) 西村裕子 山岸明子 若菜恵美子 井上裕子 東橋本ひまわりホーム職員一同 松原ひろみ 和田利子 石黒琢一郎 近藤哲也 吉田俊二 上田雅 松村琢磨 川崎久美子 匿名希望 新潟県 大同生命保険(株)新潟支社 高島千鶴子 地域密着型複合施設わしま 富山県 岡田富美恵 日本労働者協同組合連合会センター事業団魚津地域福祉作業所スマイルぼびー アイプリモ富山店 石川県 アイスター商事代理店 山本か乃子 福井県 水本京美 山梨県 濃野あゆみ 長野県 奥水正子 中條春菜 島田順子 匿名希望 岐阜県 井貝美奈 吉沢君子 渡邊美里 山田圭介 (株)アーバンイースト 奥原たかし (株)堀川組 静岡県 掛川市社協収集物整理ボランティア「金の砂」 笹原恵・橋本也 堀田史子 大島賢 小池志世子 島中将也 (株)遠州急行 富永純也 匿名希望 愛知県 (株)ホットスタッフ 刈谷市社協事業推進課内ボランティアグループ一協会 太陽日酸(株)中部支社 田島友理 西山浩史 平井隼行 平野章子 松浦寿代 クラブツーリズム(株)エコースタッフ こうのあまね 佐藤史郎 柴田友香 新海のぞみ 松原多美 愛知大学生サークル

Johner.Volunteer 渡辺設備(株) 加門典子 (株)東海スポーツフィールド アイプリモ名古屋栄店 河合節子 小西たえ子 小牧中 遊佐幸史 中村恵美 西口往伸 (株)西山商店 齋藤丸枝 松藤好弘 吉原雅美 藤田飛鳥 匿名希望 三重県 (株)デンソー大安製作所 大仙寺・熊野市立新鹿小・中 河原あゆみ 海老原秀世 大窪粹子 田畑心々夏 田村幸子 メンテックオーケボ 永田真澄 田中早苗 長谷川真理子 出口郁子 滋賀県 山本 浦野富子 内藤久美子 京都府 三条小川デイスサービスセンター 横井晴紀 伊佐明子 菊岡美彌 (株)Com-Fill 三井住友信託銀行京都支店・大津支店 匿名希望 大阪府 井尻清子 小川日出子 片平幸子 (株)初田製作所 進藤早人 多賀祥介 山口恭子 山城 山田シゲ子 大久保敦子 小野隆代 齊藤文篤 南紀子 亀田真理子 多本ゆき枝 園田春希 若松淳子 谷洋子 三井住友信託銀行難波支店・難波中央支店 安永恒子 山田亜土子 山出美千代 山本恵美子 医療法人遊心会にじくクリニックデイケアのぞみ ジブラルタ生命保険(株)大阪中央支店大阪大阪中央第六営業所 高岡耕平 Y 服部孝子 古川寛子 久谷智子 竹歳茜 藤崎純子 匿名希望 兵庫県 藤綾孟 松本周子 三宅花奈 生活協同組合コープこうべ第1地区本部 西岡輝枝 二宮則子 依田幸子 オノカ他有志一同 (株)研文社 尼崎工場 筒井恵美子 平野真佐美 西田 山森良恵 アイプリモ姫路店 岩田めぐみ 蓮尾和之 三井住友信託銀行西宮支店 岩田優貴子 関東煮 匿名希望 奈良県 奈良市ボランティアインフォメーションセンター 中島富美子 和歌山県 橋爪智 鳥取県 西根めぐみ 永原千恵 山本恭子 岡山県 羽場裕司 鳥越多美子 中西佳奈 藤原スマ子 柚木映子 広島県 中本妙 藪下真由美 まどでんきがかかり 佐藤玲 山根久美子 大川智絵 黒川マキ子 匿名希望 山口県 今西祐美子 福久良江 有国義憲 児玉文子 匿名希望 徳島県 西崎千尋 住友友佳 アイプリモ徳島店 武内千都美 香川県 大山 津田千尋 浜崎好人 堤すみれ 愛媛県 川井智絵 匿名希望 高知県 旭食品(株) 福岡県 NTTファイナンス(株)九州総合料金センター 小見田清美 日永田勝也 村岡奈津美 柳真梨奈 高田 日本生命保険(相) 契約管理部 山脇弘子 伊藤加代子 白野孝枝 高木都代 井口喜代子 坂本みどり 升本 延香 大庭英治 岡村 藤井久美子 匿名希

望 佐賀県 南里勝巳 熊本県 橋口響 大分県 井上義雄 嶋崎光平 匿名希望 宮崎県 山野内貴久子 沖縄県 田盛 匿名希望 (株) マツモト 富士シティオ 村上 YI 正木房子 GoldWing 佐藤佳保 伊達直人 マスダ 無記名=137件

## 〈友愛援助申し込み〉10月1日~10月31日

北海道 女満別小(大空町) 庶路学園(白糠町) ◆長野県 白馬中(白馬村) ◆岐阜県 萩原小(下呂市) ◆愛知県 津賀田中(名古屋市瑞穂区) ◆京都府 京都女子中(京都市東山区) ◆兵庫県 安室東小(姫路市) ◆長崎県 長崎商高(長崎市)

# 大台達成校

10月	金額
藤ノ花女子高	愛知県豊橋市 11,012,768
松本小	福井市 9,006,230
東北中	新潟県長岡市 6,038,715
大山小	山形県鶴岡市 5,026,324
本宿小	横浜市旭区 5,043,691
平間小	川崎市中原区 5,000,356
わかば西小	兵庫県尼崎市 5,007,874
南浦和小	さいたま市南区 4,143,416
高砂小	兵庫県高砂市 4,026,941
角倉小	山口県下関市 4,004,931
志木小	埼玉県志木市 3,033,931
新郷東小	埼玉県川口市 3,004,483
三島小	愛知県岡崎市 3,004,839
青方小	長崎県新上五島町 3,011,983
中居小	埼玉県川口市 2,072,852
ちぐさ幼稚園	千葉県八千代市 2,002,740
姿川第一小	宇都宮市 1,048,300
港南台第二小	横浜市港南区 1,011,627
剣崎小	神奈川県三浦市 1,000,550
百合丘小	川崎市麻生区 1,006,718
梓川中	長野県松本市 1,022,385
二本木小	愛知県安城市 1,005,338
渋川小	滋賀県草津市 1,002,744
いぶき野小	大阪府和泉市 1,034,777
上道小	鳥取県境港市 1,007,277
牛田新町小	広島市東区 1,040,095
猪調小	長崎県佐世保市 1,001,657
口之津中	長崎県南島原市 1,009,749